

命天知而五十

五十にして天命を知る(孔子)

「緑友 ビジネス玉手箱」募集のご案内

全国印刷緑友会 総務担当 外間政朝

全国印刷緑友会の会員の皆様、こんにちは。先日開催致しました神奈川総会が、各グループのご協力に無事平穩に終了した事に、心より感謝いたします。さて「緑友 ビジネス玉手箱」の第二弾の募集を6月～7月に行います。

趣旨等については、平成20年3月21日発行のフレンズオブグリーン129号(緑友ホームページにアップしています。)をごらん頂ければ幸いです。募集のご案内については、各グループ長宛に郵送致します。(緑友のホームページにもアップ致します。)

不明な点につきましては、総務担当外間まで連絡下さい。宜しくお願いします。

メールアドレス:masatomo@kobundo.net 携帯:090-1518-8879



会長に選任され一年が経過しました。会長になって感じたこと

間も続く組織。私の地元の九州では九州独自の組織が20年ほ



全国印刷緑友会 会長 岩重昌勝

想いを伝える

は緑友の裾野の広さと奥行きが深いです。「会」への加入や存続に何の制約や義務もないのに50年

なから「覇」を唱えず「営利」を追わず「規模」に走らない組織に在籍し今と将来を論じ合える「友」を全国に持ちえる「全国印刷緑友会」。先輩達から教えられ、自ら体験し後輩達へ繋ぐ。携わる全ての人の「思い」が知らず知らず背中に押し付けて何かを生み出すエネルギーになっているのかもしれない。想いを伝え、それが伝わる。その輪は未来へ。

去る5月17日、数多くの采賢諸先輩の方々として全国各地から緑友同士、関係者の皆様、総勢237名の方々に



全国印刷緑友会 監事 神奈川正和会創立50周年記念式典 実行委員長 大川哲郎

神奈川総会、神奈川正和会 創立50周年記念式典

お集まり頂き、「変化の創造者たれ」情熱コミニケーション2008のテーマの下、神奈川総会ならびに神奈川正和会創立50周年記念式典

祝賀会がヨコハマランドインターコンチネンタルホテルにて盛大に開催されました。

奈川正和会かながわしよわかいは緑友会が発足した翌年の1958年、神奈川にも二世会をという想いから発足された神奈川正和会は、「和して同ぜず」「正しく和す」という基本精神がその名の由来となっています。

50周年記念式典では

川正和会ロゴマークの発表がされました。一時は緑友会の催しにもほとんど出席せず、例年でも数名しか集まらず解散も考えた正和会でしたが、これから50年へ向け正和会メンバー33名全員が結束の気持ちで新たにしました。

また50周年記念講演には、連日連夜予約で満席が続いていると言っている東京青山のレストラン「カシタ」のオーナーである高橋滋氏が講演され、我々印刷人に

対しお客様に立場に立ちてもっと出来ることがあるはずだと、名言の数々を投げかけ多くの気づきを与えてくださいました。普段何気なく使

てしまっている「水と空気」は「お客様が自ら選んでくださっていること」と「お金を支払ってくださっていること」とであると言いき、「ハード」ではなく「ソフト」が大切であること、トップの情熱があれば思いは伝わることを熱く語ってくださいました。

今回の祝賀会・懇親会で特筆すべき点として、社会情勢や時代背景も考える取り組みをしました。世界共通の問題である環境問題は、ミャンマーの災害や四川の大地震を始めとする相次ぐ自然災害や食糧危機、農作物や様々な製品価格の高騰など、いろいろな形で私達に実感されるものになった他、農薬入り冷凍餃子の問題など、食のあり方も問われて

おります。現在我が国でパーティーなどの際、食べ残しなどで無駄になる食事は平均15%にも上るそうです。そこで当日の懇親会、祝賀会の料理を登録人数の85%の提供とさせて頂き、削減させて頂いた分から日本支部が横濱にあり、ミャンマーの災害を始め世界各地へ食糧支援を行って今「WFP(国連世界食糧計画)へ寄付をさせて頂こうと、国連WFP協会の田邊専務理事に寄付の目録を贈呈させて頂きました。皆様方にも協力頂き、ミャンマーへの食糧支援に活用される寄付が出来たこと、そして当日の食べ残しも極めて少ないものとする事が出来たことを報告させて頂きます。

緑友会の事業は参

加するのと主管するのでは大違いであり、ですが、一つの大きな事業を全うできた暁には、会員の団結力と一体感が今までと違ったものになることを実感することが出来ました。当日深夜の打ち上げの時は、競争ではなく、「共生」の思想が必要不可欠と思ふ。また、「得」の時代から、「徳」を大切にしている時代に、変わっていく、とも言える。

「徳」という字は、「直(素直な)」「心(心)」「行(行)」という意味だそう

緑友会のように、心と心を素直にぶつけ合える、そんな場に巡り合えたことに感謝し、精進努力と行うこと。

日日是好日。(徹熊)



全国印刷緑友会 http://www.greenfriend.jp/ <今後の行事予定> 2008年9月13日(土) 第50回 全国印刷緑友会 岐阜大会 発行: 全国印刷緑友会 責任者: Y-ING 井上雅博 編集人: Y-ING 齊藤理

私と緑友会

近畿ブロック担当 常任 服部 敬二 (神戸印刷若人会)



神奈川正和会のみならず、第51回神奈川総会及び、正和会50周年記念式典の設営と運営、御苦勞さまでした。そして成功おめでとうございます。

大変な御苦勞もおありだったとは思いますが、高い山に登った後のように達成感と苦勞を分かちあった仲間意識に喜びをあげていらつしやることでしょう。きっとその後の印刷人としての人生に良い影響を及ぼすものと信じてやみません。正和会の皆さんの一所懸命な姿を見て、2年前の上海で執り行いました神戸印刷若人会の50周年記念式典のいろいろな出来事を思い出しました。今では楽しい思い出ですが、怒ったり、笑ったり、感動し、感謝しました。一年以内に記念誌を作る予定でしたが、諸所の事情で2年かかりましたが、やっと完成し、関係各位に発送しております。御笑納ください。肩の荷が下りた思いです。

緑友会に近畿ブロックの担当常任として参加させていただいて、よく分からないまま1年になります。いろんな方がいらつしやいます。面白いですね。

緑友会の行事をぜひ、受けたことのないグループにやっていただきたい。(あるのかな?)会の活性化のためなんて言いますが、プラス面ばかりでなく、やりようによっては反作用もありますのでご注意ください! 活性するように進行するのも勉強です。企業でも同じですよ。勝手なことを書いてますが、お許しを。成功も失敗も、喜び、笑いも涙も恥ずかしいも、熱い人も冷めた人もみんなひつくるめて緑友会?

ミャンマーのサイクロン、中国四川の大地震など、未曾有の天変地異が続いている。しかし、そのお蔭で、長年続いた、独裁体制にひびが入り、国際協調の道が開かれるかもしれない。いよいよ、大変革の時代本番かと思わされる。IT化の影響で、情報を完全に操作することなど、不可能になっ

我が々の仕事も、ブラックボックスは既になく、長年続いた、付加価値は、無くなつてしまっ

編集後記